

令和2年度

# 入校のご案内

(学生募集要項)



## 宮城県農業大学校

〒981-1243 宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地

TEL 022-383-8138 / FAX 022-383-5491

<http://www.pref.miyagi.jp/site/noudai/>

E-mail [noudai@pref.miyagi.lg.jp](mailto:noudai@pref.miyagi.lg.jp)

# 1 宮城県農業大学の概要

本校は、農業の近代化と経済社会の発展に対応できる、高度な知識・技術を身につけ優れた農業経営者と農村地域の指導者を育成することをねらいとして、昭和52年4月に設立された農業大学校です。

本校の前身は、昭和10年創立以来ほぼ半世紀にわたり多くの優れた農業者を送り出してきた宮城農学寮及び高等農業研修所ですが、昭和59年度には宮城県立農業講習所及び蚕業講習所を統合して新たな宮城県農業実践大学校としてスタートし、平成20年7月14日には専修学校の機能を付加し、平成21年度に校名を「宮城県農業大学校」に変更しました。

## 2 教育方針

本県農業の次代を担う優れた経営者の養成を目的として、3つの基本理念(3Be)のもと、下記の5つを目標に実践的教育を行います。

- Be Ambitious** (大志をいだけ)
- Be Glocal** (世界的視野で地域を考えよ)
- Be Ecological** (自然環境と調和せよ)

- (1) 農業技術等の高度化に伴う総合的な技術習得
- (2) 国際感覚を持った創造的な人材育成
- (3) 社会生活に必要な知識技術の習得
- (4) 社会情勢の変化に対応した幅広い視野や協調性の養成
- (5) リーダーとして必要な判断力と組織運営力の養成

## 3 教育の特色

本大学校は、将来の農業経営者や農業関連の担い手としての基礎的な資質を習得させるため、実践的な教育と経営者マインドの醸成を基本としたカリキュラム構成となっています。

- (1) 1年次は名取教場を中心に、2年次では園芸学部、アグリビジネス学部は名取教場、水田経営学部は古川教場、畜産学部は岩出山教場で学習します。
- (2) 試験研究機関と連携した学習、農家や民間企業等への派遣研修など、理論と実践を融合した学習体系をとっています。
- (3) 卒業後の進路に対応する、知識の習得及び資格取得を目指した指導を行っています。
- (4) 自主性を尊重し、学生の希望に応じた講義選択や研修先選定など、柔軟に対応する教育システムをとっています。

## 4 募集学部・募集定員

募集定員 55名 修業年限 2年

学部名	募集定員	概 要
水田経営	15名	水稲や畑作物の低コスト・高品質生産技術などについて学習します。また、園芸作物を組み入れた水田複合化農業についての実践的な学習をします。
園 芸	15名	野菜(トマト, イチゴ, キュウリ等), 花き(キク, 洋花等), 果樹(リンゴ, ナシ等)について栽培管理技術や販売など実践的な学習をします。
畜 産	15名	酪農, 肉牛, 養豚などについての専門的知識・技術を習得し, 畜産試験場に併設された教場で畜産全般の実践的な学習をします。
アグリビジネス	10名	米や野菜・果樹などの地域農産物を利用した加工品づくりから生産物の Web 販売・直売所・農家レストラン・民宿などの経営について専門家の指導で実践的な学習をします。
計	55名	

## 5 試験区分

### (1) 推薦入校試験

学校長推薦

〔受験資格〕

次の要件を全て満たす者

- イ 高等学校又は中等教育学校(後期課程)を令和2年3月に卒業見込みの者
- ロ 本県農業の振興に貢献する意欲があると見込まれる者
- ハ 調査書の「全体評定平均値」が3.0以上の者

### (2) 一般入校試験(前期・後期)

〔受験資格〕

高等学校又は中等教育学校(後期課程)卒業生(令和2年3月卒業見込みの者を含む。)又はこれと同等以上の学力があると認められ, 本県農業の振興に貢献する意欲がある者

## 6 試験概要

### (1) 推薦入校試験

区 分	内 容
募 集 期 間	令和元年 9月 4日(水)～令和元年 9月18日(水)(当日消印有効)
試 験 日 時	令和元年10月 2日(水) 午前 8時45分～
合 格 発 表 日	令和元年10月11日(金) 午前10時
試 験 場 所	宮城県農業大学校本部名取教場
試 験 科 目	①筆記試験 ○小論文(60分 800字) ○数学 I (60分) ②面接試験 ○個人面接(15分程度)

(注)推薦入校試験の募集人員は学部定員の8割程度とします。

### (2) 一般入校試験

#### 《 前 期 》

区 分	内 容
募 集 期 間	令和元年11月 7日(木)～令和元年11月22日(金)(当日消印有効)
試 験 日 時	令和元年12月 6日(金) 午前 8時45分～
合 格 発 表 日	令和元年12月13日(金) 午前10時
試 験 場 所	宮城県農業大学校本部名取教場
試 験 科 目	①筆記試験 ○国語総合 (60分) ○数学 I (60分) ○小論文 (60分 800字) ②面接試験 ○個人面接 (15分程度)

#### 《 後 期 》

区 分	内 容
募 集 期 間	令和2年 1月17日(金)～令和2年 1月31日(金)(当日消印有効)
試 験 日 時	令和2年 2月14日(金) 午前 8時45分～
合 格 発 表 日	令和2年 2月21日(金) 午前10時
試 験 場 所	宮城県農業大学校本部名取教場
試 験 科 目	①筆記試験 ○国語総合 (60分) ○数学 I (60分) ○小論文 (60分 800字) ②面接試験 ○個人面接 (15分程度)

(注)定員に達した学部は、一般入校試験(後期)を実施しないことがあります。一般入校試験(後期)の募集人員は令和2年1月上旬にホームページ上に掲載します。

### ◎合否通知

合格者の受験番号は、それぞれの合格発表日の午前10時に宮城県農業・園芸総合研究所(本校)正面玄関に掲示するとともに本校ホームページに掲載します。また、合否の結果を書面で本人(推薦入試の場合は本人及び学校長)宛に通知します。

なお、電話による問い合わせには一切応じていません。

## 7 出願手続

提出書類		内 容	推薦	一般
入 校 願 書	本 校 指定様式	必要事項を記入(志願者の自筆) 入学者選抜手数料(宮城県収入証紙 2,200 円分)を所定の欄に貼付 第2志望学部がある場合は記入	○	○
※ 証 明 書 等	最終学校 所定様式	下記の詳細参照のこと	○	○
推 薦 書	本 校 指定様式	学校長推薦	○	
受 験 票 用 写 真		1枚(身上調書に貼付したものと同一もの)	○	○
受 験 票 返 信 用 封 筒		封筒:長3サイズ(120×235mm)に宛名を記 入し, 切手392円分(簡易書留)を貼付	○	○

### ※証明書等

高等学校又は中等教育学校の卒業 (見込み)者	調査書(出身学校長が発行したもの) ※卒業後, 一定期間を経過し, 調査書が発行されない場 合, 卒業証明書及び成績証明書(または単位修得証明書) を提出してください。
高等専門学校第3学年修了(見込み) 者	文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの(出身学 校長が発行したもの)
文部科学大臣の指定した専修学校の 高等課程修了(見込み)者	卒業(見込み)証明書 成績証明書
高等学校卒業程度認定試験合格(見 込み)者又は大学入学資格検定合格 者	合格成績証明書又は合格見込成績証明書 ※免除科目がある場合は, 出身高等学校等の成績証明書を 提出してください。
大学, 短期大学及び専門学校の卒業 (見込み)者	成績証明書(大学, 短期大学及び専門学校が発行したもの)

(注) 推薦入校試験に合格しなかった者は, 一般入校試験志願者として受験することができます。

この場合, 一般入校試験の志願に必要な書類は, 「入校願書, 受験票用写真, 受験票返信用封筒」とします。

### ◎願書等の請求

#### (1) 郵送の場合

〒981-1243 名取市高館川上字東金剛寺1番地

宮城県農業大学校教務部学生班 宛(返信用切手205円を同封のこと。)

#### (2) ホームページからのダウンロード

本校のホームページ(<http://www.pref.miyagi.jp/site/noudai/>)

## 8 書類提出先

〒981-1243 名取市高館川上字東金剛寺1番地

宮城県農業大学校 教務部学生班 宛 直接持参又は郵送

(郵送の場合は簡易書留で, 封筒表面に「入校願書在中」と朱書きすること)

## 9 受験上の留意点

- (1) 入学者選抜手数料は2,200円です。(宮城県収入証紙を入校願書に貼付)
- (2) 入校試験を受験する者は昼食を持参願います。
- (3) 入校試験成績の開示

入校試験の成績については、「宮城県個人情報保護条例」に基づき、本人又は法定代理人の請求により簡易開示ができます。受付期間は、合格発表の日から1か月間です。詳しくは、本校教務部学生班までお問い合わせください。

## 10 学費及び諸経費について

(1) 学費	①入学金	5,650円
	②授業料	118,800円 (年額)
(2) 諸経費	①教材費(教科書・実習服等) 学部によって異なります。	80,000円程度 (年額)
	②各種資格試験受験料・健康診断・アルバム等 学部によって異なります。	70,000円程度 (年額)
	③海外研修積立金 円高,円安,原油価格等によって変動があります。また,オイルサーチャージは別途扱いとなります。科目「海外農業研修」を選択しなければ必要ありません。	300,000円程度 (分納可)
	④後援会費 (参考) 後援会は,学生の大学校生活の向上と福祉の増進を図り,本大学校の教育事業を支援する組織です。主な活動は,学生の学習奨励,福利厚生,教育課外活動,学生会活動等の支援及び会員相互の親睦と研修等です。後援会費は,これら学生及び保護者の諸活動に要する経費です。	50,000円程度 (年額)

(注) 授業料は、一定の要件を満たした場合、免除することができます。

## 11 寮費について

本校には、遠隔者の利便を図るため、寄宿舍(学生寮)を設置しており、入寮希望者は別途手続きが必要となります。経費は概ね次のとおりです。

(1) 寄宿舍料	1,200円 (月額)
(2) 光熱水費	56,000円程度(年額) * 諸物価の動向等により変動する場合があります
(3) 食費	230,000円程度(年額)

## 12 専修学校のメリット

- (1) 卒業時に「専門士(農業専門課程)」の称号が付与されます。
- (2) 卒業生は、4年制大学の3年次への編入学試験の受験が可能となります。  
(※編入試験実施の有無については、希望する大学に確認してください)

## 13 奨学金制度

- (1) 本校を卒業後、宮城県内での就農を予定されている方は、公益社団法人みやぎ農業振興公社奨学金の申請ができます。
  - (2) 本校を卒業後、就農を予定されている方は、国の事業である農業次世代人材投資事業(準備型)の申請ができます。
  - (3) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。
- ※上記(1)～(3)の採択に当たっては一定の要件を満たす必要があります。

## 14 資格取得の支援

以下の資格取得を支援する科目が設定されています。

資格名称	学部			
	水田経営	園芸	畜産	アグリビジネス
大型特殊自動車運転免許(農耕用)	○	○	○	○
けん引免許(農耕用)	○	○	○	○
危険物取扱者(乙種第4類)	○	○	○	○
全国経理教育協会簿記能力検定(2級・3級)	○	○	○	○
日本商工会議所販売士検定(3級)		○		○
フラワーデザイナー(3級)		○		○
家畜(牛)人工授精師			○	
2級認定牛削蹄師			○	
フォークリフト運転技能者	○	○	○	○
ボイラー技士(2級)				○
アーク溶接特別教育・ガス溶接技能講習	○	○	○	○

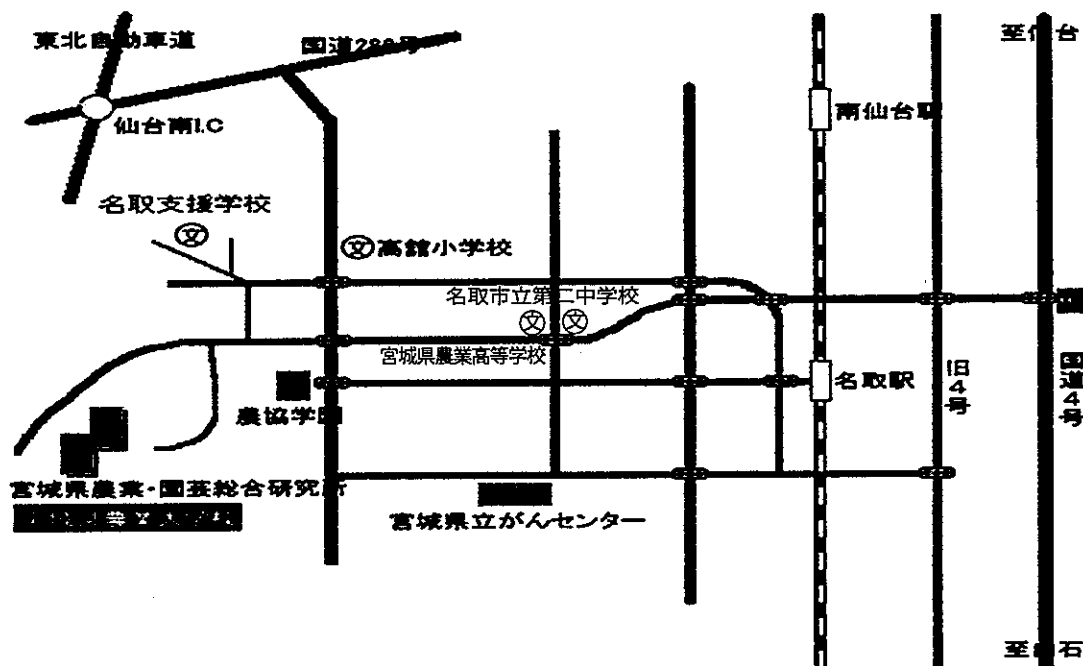
(注1) 資格の種類によっては、「10 学費及び諸経費について」の(2)諸経費とは別に経費がかかる場合があります。

(注2) 家畜(牛)人工授精師講習会について、定員以上の申込みがあった場合、選抜試験が実施されます。

## 15 その他

- (1) 応募書類は、いかなる理由があってもお返できません。
- (2) 応募書類によって得られた個人情報は、入校試験、統計情報の作成及び入校後の学生管理の範囲内で利用させていただきます。

### 【 宮城県農業大学校へのアクセス 】



#### ○列車・バス利用の方

- ・JR 東北本線南仙台駅又は名取駅下車
- ・名取市乗合バス「なとりん号」高館線をご利用ください。「農業・園芸総合研究所」下車。  
( JR名取駅西口⇄農業・園芸総合研究所⇄JR南仙台駅西口 )  
※運行状況に注意してください。

#### ○列車・タクシー利用の方

- ・JR 東北本線南仙台駅又は名取駅下車
- ・タクシー利用(10分)

#### ○東北自動車道利用の方

- ・仙台南 IC から約15分

#### (問い合わせ先)

宮城県農業大学校 教務部 学生班・教務班  
〒981-1243 宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地  
TEL 022-383-8138 FAX 022-383-5491